

# 爪切り屋メディカルフットケアJF協会 協会通信

NO. 23

心つなぐ足へのメッセージ

2015年12月 発行

編集・発行 爪切り屋メディカルフットケアJF協会 広報委員会

〒179-0085 東京都練馬区早宮3-12-5 TEL 03-3992-1824 Fax 03-3992-3309

爪切り屋メディカルフットケアJF協会

会長 宮川 晴妃

会長のページ



紅葉の美しい候となりました。皆様にはお変わりなくご活躍の事と思います。当協会の活動に、ご協力頂き有りがとうございました。厚く御礼申し上げます。

公衆衛生学会も多くの方々にフットケアの必要性を、回を重ねる度に、理解して頂けてきたと思っています。これからもより良い技術の提供が出来ることを願っております。

自らのキャリアに責任をもって、自分の生き方や学び方を考え、必要が  
ある時にいつでもお手伝いさせていただきます。

## ワンポイントレッスン⑥【足を簡単に洗う】※洗う前にアセスメントを行う。

用意するもの 足浴器、ビニール袋、浴用タオル、キムタオル、石鹸、軟毛歯ブラシ、ガーゼ、ペットボトル（空）、シャワー口、お湯（踝が隠れる程度 39~40度）

- ① 踵を掌に載せる。（爪先は腕の中心に） 足消毒をする手順で、ブラシに泡を含ませ、ラセンを描くように洗う。
- ② 掌を足趾節関節部に当て指間を洗う。
- ③ 踵部分を容器の淵に載せ、爪クリームを付ける時の要領で爪母、根元から爪床溝を通り指先へそして爪下皮部位を洗う。足裏は手を前後させながら洗う。
- ④ 洗い終わったら温かいタオルを足首上よりバイアスで包み泡を取り除く。
- ⑤ 容器に戻しすぎ洗いをしっかりとし、最後にボトルのシャワーですすぎ、包み拭きをする。

①

②

③



③

④

⑤



足裏は掌に  
シャワーのお湯  
を溜めてすぐ

第30回研修会

平成27年8月1日(土)開催

フットケアの原点に戻って～生き生きとフットケアをするためには～

今回の研修会では、病院・施設・サロン・在宅・新しい試みの各分野でご活躍中の会員の方にパネリストとして登壇いただき、各分野からの活動を報告していただきました。

その後、パネリストディスカッションがあり、フロアの会員の皆様からも活発な質問や意見がだされました。それぞれの会員が新たな1歩を踏み出すパワーを充電できたのではないのでしょうか。

【コーディネーター】 西脇副会長

【パネリスト】 病院系 山村真紀氏（看護師）

施設系 浅見ひろみ氏（看護師）

在宅系 須藤友子氏（爪切り屋メディカルフットケア友 代表）

写真右側から サロン系 馬庭良子氏（メディカルフットケアあゆみ 代表）

新しい試み 折笠無我氏（一般社団法人生きがいつくり研究所代表理事）



山村真紀氏（病院系）

～病院でのフットケアから地域活動へ～

糖尿病看護認定看護師、糖尿病療養指導士として「患者さんの足を守りたい」ということが活動の原点である。病院では、フットケア外来と糖尿病指導外来でフットケア指導や処置を行っている。セルフケアができることを目標に活動しており、宮川先生の教室で学んだ「見極める」という言葉を大切にしている。毎日が、患者はセルフケアができるのか、医師への相談や治療が必要なのかなど、常に「見極め」の連続だと感じている。

病院の外来では、重症患者が多く、患者の足を守る取組みとして、3年前より足創傷ケア

浅見ひろみ氏（施設系）

～4か所の施設での活動を通じて～

【ボランティア活動（特別養護老人ホーム）】フットケア実践と学びの場となっている。認知症で爪切りを嫌がる方の事例では、声掛けやスキンシップのほか、不快感を与えない適切なビットの選択などの技術も特に求められ、学ぶ事が多い。看取りの段階の方には、「ご家族が最後に握る手がきれいであってほしい」という思いでケアをさせていただいている。

【橋本先生と一緒に活動（八王子健康倶楽部北野）】橋本先生からの実践の学びと、施設スタッフとのコミュニケーションの大切さを指導されている。

### 馬庭良子氏（サロン系）

#### ～自宅を改装したサロンを拠点に～

【開業の前にしたこと】 ①自宅をサロンに改装。初期投資は手洗い用洗面台と、湯沸かし器の設置。紫外線消毒器などは、リサイクルショップを利用。②税務署への開業届け（業種はサービス業）。保健所での許可がいらないとのことで開業しやすかった。③自分の看板として、サロン事業の目的・目標・開業承認証をサロンに掲げた。

【活動内容】自宅サロン、在宅訪問、福祉専門学校でのフットケア教育、イベントにおけるフットケア普及活動など。

#### 【これまでの課題と解決方法】

フットケアの固定客の確保については、個別、事業所のニーズに合わせてきめ細やかに柔軟に対応し信頼を得る。フットケア教育カリキュラムの構成については、日常生活支援としてフットケアの大

### 須藤友子氏（在宅系）

#### ～フットケアで経済的自立を～

【出張フットケアについて】移動は公共バスを利用。無理をせず、土日のみ午前午後1名程度を実施。足浴とトリートメントを含み1・5時間程度かかっている。高齢者が多く、開始までと終了してからも時間がかかりゆとりが必要である。金額は一人

5000円～7000円（交通費別途）。保険加入（東京海上日動火災 保険料4510円／年間、保障金1千万円）。出張フットケアでは、①まごころを込めて。②予約日を守る③コミュニケーションと説明はしっかりすることを大切にしている

#### 【今後の野望】

フットケアの社会的認知度は、フットケア1本で経済的自立ができるまでには至っていない。スキル

### 折笠無我氏（新しい試み）

#### ～人と人を繋ぐフットケア～

人の教育に携わる仕事がしたいと考えていた。フットケアとの出会いは、平成15年に日経新聞に掲載された宮川先生の記事を読んだことがきっかけである。

直ぐに宮川先生に連絡をとり、翌年、岩手で先生の講演会を開催した。講演会は成功を収めたが、開催にあたって設置した団体は解散となった。人は立場により、人・物・お金の感覚が全く違うことを学んだ。

個人の戦略としては、自分ができるところに集中すること、始めるにあたっては、全ての責任は自分にある

研修会後の茶話会（研修会場にて）



各会員の報告については、広報担当でまとめさせていただきました。紙面の都合もあり、主旨や熱意が十分お伝えできなかったかも知れませんが、ご容赦をお願いします。ぜひ、みなさんご自分でキャッチしていただきたく、研修会へのご参加を

## サロン報告 (株)メディカルフットケア青森

フットケアワーカー 木村 育子 平成 18 年 7 月 1 級終了

山本 安代 平成 20 年 2 月 1 級終了

### 【場 所】

青森市内（真向かいにイトーヨーカドー青森店、裏側に青森山田高校）  
新青森駅、青森空港からほぼ同じ距離、車で約 25 分位  
2 階建てビルの 2 階（1 階は、東洋シルバ

### 【活動内容】

- \* サロン経営
- \* 爪きり入門講座—4 日間コース
- \* フットケアワーカー育成講座—48 日間コース
- \* 在宅、施設等の出張ケア
- \* 介護予防教室

### 店 内 紹 介

談話コーナーは施術後、コーヒーを飲んでいただいたり、家族同伴でいらした方には施術もこちらで行います。テーブルとイスの配置を変え、実技実習コーナーとしても利用しています。在宅、施設訪問用にフットレス付折りたたみイス、蛍光灯を車につけてあります。

サロンでも、訪問生でも、お客様の負担が少ないよう、私達も



【談話コーナー】



【講義受講コーナー】



【施術ルームの大型水槽 熱帯魚が泳いでいます】



【施術用椅子 理容用の椅子を使用】

ケアトリートメント時は平らになるようクッション 使用



小さなガラス細工癒しの空間で、リフレッシュして頂ければ幸いです...

編集後記

一年を振り返る時期になりました。

予定通りに通信を発行でき皆様のご協力に感謝です。